

芦屋の人



撮影・桑田敬司(ハナヤ勤兵衛)

会下山遺跡発掘は子ども心に楽しかった

昭和五年、当時、井ノ尻(現松ノ内町)と呼ばれていた地に、私の父がクリーニング店を開店して以来、親子二代にわたり芦屋に住んでいます。私が「芦屋の歴史」に興味を持ち始めたのは、山手中学の頃です。昭和三十一年から三十六年にかけて、背山で会下山遺跡の発掘が行われており、山手中学ではすでに歴史研究部が発足していました。私も歴史研究部に入り、遺跡発掘の手伝いをするようになったのですが、いま覚えていることといえば、夏の暑い日にお茶運びしたことや、冬の六甲おろしの寒かったこと位です。

うか、昭和三十九年に卒業生二十五人ほどが集まって、「芦の芽グループ」を発足させました。その後、市の文化財発掘チームの手伝いというか、八十塚・山芦屋・城山古墳群・芦屋廃寺・寺田遺跡・三条岡山遺跡・朝日ヶ丘縄文遺跡や大坂城探石場遺跡などの発掘にかかわってきました。芦屋というまちは、山があり海があり、なんとも落ち着くところ。その上、市域もこじんまりしていて、小回りのきくまちです。普段のときでも、私はカメラを持ち歩いて、ま

ちのスナップを撮り続けてきました。でも、それも子ども心に楽しかった。そんな経験から、うか、昭和三十九年に卒業生二十五人ほどが集まって、「芦の芽グループ」を発足させました。その後、市の文化財発掘チームの手伝いというか、八十塚・山芦屋・城山古墳群・芦屋廃寺・寺田遺跡・三条岡山遺跡・朝日ヶ丘縄文遺跡や大坂城探石場遺跡などの発掘にかかわってきました。芦屋というまちは、山があり海があり、なんとも落ち着くところ。その上、市域もこじんまりしていて、小回りのきくまちです。普段のときでも、私はカメラを持ち歩いて、ま

掘五十周年記念シンポジウム」が開催されることになり、私も参加することになったという。それと、大坂城の探石場の見直し調査に、昨年、国・県がやっと動き出し、平成二十年度末までに「報告書」を作成することになったことですね。ともあれ、芦屋を愛する一市民として、今後もこのまちを撮り続け、芦屋にかかわるいろいろな資料を収集して、「史料」として大切に次代へと残していきたいと思っています。

藤川祐作(ふじかわゆうさく)氏 昭和十九年、芦屋市生まれ。郷土史(地域史)家。歴史研究団体「芦の芽グループ」代表。打出焼研究家。芦屋市美術館歴史学芸ボランティア。また、芦屋市と隣接する深江財産区が運営する「神戸深江生活文化史料館」の研究員や、「徳川大坂城東六甲探石場調査検討会」委員としても活躍されている。

でも、それも子ども心に楽しかった。そんな経験から、うか、昭和三十九年に卒業生二十五人ほどが集まって、「芦の芽グループ」を発足させました。その後、市の文化財発掘チームの手伝いというか、八十塚・山芦屋・城山古墳群・芦屋廃寺・寺田遺跡・三条岡山遺跡・朝日ヶ丘縄文遺跡や大坂城探石場遺跡などの発掘にかかわってきました。芦屋というまちは、山があり海があり、なんとも落ち着くところ。その上、市域もこじんまりしていて、小回りのきくまちです。普段のときでも、私はカメラを持ち歩いて、ま

掘五十周年記念シンポジウム」が開催されることになり、私も参加することになったという。それと、大坂城の探石場の見直し調査に、昨年、国・県がやっと動き出し、平成二十年度末までに「報告書」を作成することになったことですね。ともあれ、芦屋を愛する一市民として、今後もこのまちを撮り続け、芦屋にかかわるいろいろな資料を収集して、「史料」として大切に次代へと残していきたいと思っています。

藤川祐作(ふじかわゆうさく)氏 昭和十九年、芦屋市生まれ。郷土史(地域史)家。歴史研究団体「芦の芽グループ」代表。打出焼研究家。芦屋市美術館歴史学芸ボランティア。また、芦屋市と隣接する深江財産区が運営する「神戸深江生活文化史料館」の研究員や、「徳川大坂城東六甲探石場調査検討会」委員としても活躍されている。

春の公民館講座

問い合わせ 公民館 ☎35-0700 / FAX22-6924(〒659-0068 業平町8-24)

- 【芦屋・まちかど学 - 芦屋の街を講師と歩こう】<全5回>
日程 5月9日~6月6日(火)午前9時~11時45分 内容 「芦屋川周辺の文化と自然ウォッチング 環境カウンセラー・近藤浩文氏ほか 定員 30人 受講料 1,300円
- 【幼児教育講座 - 楽しみながら生き生き子育て】<全5回>
日程 5月10日~6月14日(水)午前10時~11時30分 内容 「子育てを楽しもう」兵庫教育大学教授・横川和章氏ほか 定員 60人(託児あり) 受講料 1,600円
- 【歴史を探る - 日本の謎 Part 2】<全5回>
日程 4月27日~8月24日(木)午前10時~11時45分 内容 「古代はなぜ女帝が必要だったか」歴史研究家・菅原美文氏ほか 定員 60人 受講料 1,600円
- 【健康講座 - 生活習慣病に立ち向かう】<全5回>
日程 5月11日~6月8日(木)午後2時~3時30分 内容 「闘わないがん治療:粒子線治療」兵庫県立粒子線医療センター・菱川良夫氏ほか 定員 60人 受講料 1,600円
- 【民族学への招待 - ものからよみとく人間文化】<全5回>
日程 5月12日~6月9日(金)午前10時~11時30分 内容 「アンデス考古学からみたモノ」民族学博物館教授・関雄二氏ほか 定員 60人 受講料 1,600円
- 【2006年サイエンス・トピックス - 最先端の科学を知ろう】<全5回>
日程 5月13日~6月10日(土)午前10時~11時30分 内容 「ここまで分かった生命の起源」神戸大学教授・中川和道氏ほか 定員 60人 受講料 1,600円
- 【世界はニュースだけではわからない(時事経済解説)】<全6回>
日程 4月22日~9月16日(土)午後2時~3時30分 内容 「景気回復の実態と構造改革の誤解」大阪大学教授・小野善康氏ほか 定員 100人 受講料 1,900円

4月10日(月)<消印有効>までに、ファクスかほかで、講座名、住所氏名、電話番号を記入し、上記へ。応募者多数の場合抽選(市内在住優先)受講料は、全回通しの金額です。各講座の初回に、お支払いください。受講料の返金はできませんのでご注意ください。託児は、申し込み時に「託児希望」と記入してください。1回300円。2歳児以上就学前の幼児対象。

谷崎潤一郎記念館 文学館講座

問い合わせ 谷崎潤一郎記念文学館 ☎23-5852(伊勢町12-15)

- 谷崎の京都での住まい『潺湲(せんかんてい)』を模した庭園を臨みつつ、優雅な雰囲気の中、5月から文学館講座を開講します。申し込みは、所定の申込書に記入し上記へ。
- 【「源氏物語」の原典を読む】
日程 第3金曜日午前10時~11時30分 会場 市民センター401室 講師 京都橋大学教授・鈴木紀子氏 定員 120人 受講料 各回1,000円
 - 【女流日記「蜻蛉日記」】
日程 第3木曜日午前10時30分~正午 会場 記念館講義室 講師 京都橋大学教授・鈴木紀子氏 定員 20人 受講料 各回2,500円
 - 【英訳で読む「癡癡老人日記」】
日程 第2水曜日午後2時~3時30分 会場 記念館講義室 講師 京都橋大学教授・鎌田明子氏 定員 20人 受講料 各回2,500円
 - 【芦屋の「歴史と文化」講座】
日程 第1金曜日午前10時~11時30分 会場 記念館講義室 講師 元芦屋市美術館副館長・岩本昌三氏 定員 20人 受講料 各回2,000円
 - 【日本の伝統「俳句講座」】
日程 第4土曜日午前10時~11時30分 会場 記念館講義室 講師 ホトトギス同人・黒川悦子氏 定員 20人 受講料 各回2,500円
 - 【「ちょっといい文章」書いてみませんか】
日程 第4水曜日午後2時~3時30分 会場 記念館講義室 講師 武庫川女子大学講師・篠原嘉彦氏 定員 20人 受講料 各回2,500円
 - 【自慢の庭園で「囲碁講座」】初段~4段のかた対象
日程 第2・4金曜日午後2時~3時 会場 記念館講義室 講師 日本棋院棋士5段・荒木一成氏 定員 20人 受講料 各月7,000円
 - 【井上正三「スケッチ講座」】
日程 第1・3水曜日午前10時~正午 会場 記念館講義室 講師 作家・井上正三氏 定員 20人 受講料 各回5,000円
 - 【薬師寺 心の潤いを感じる「日本人の心のふるさと」】
日程 毎月1回・火曜日午後2時~4時 会場 記念館講義室 講師 法相宗大本山薬師寺執事・生駒基達氏 定員 20人 受講料 各回3,000円(資料実費)

「芦屋市廃棄物減量等推進審議会」市民委員を公募

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の規定に基づく審議会の市民委員を、次のとおり公募します。

審議内容 一般廃棄物の減量化および再資源化の推進に関すること 分別収集に関すること 啓発活動に関すること 公募人数 若干名 任期 2年 対象 市内在住で、20歳以上70歳未満(4月1日現在)のかた 応募方法 4月20日(木)までに「廃棄物の減量化再資源化」に関する作文(800字以内、書式自由)に住所・氏名・電話番号・生年月日・性別を記入し、下記へ応募してください。決定後、通知します。

問い合わせ 環境処理センター ☎32-5391(〒659-0032 浜風町31-1)

夜間(17:00~9:00)水道修理工事当番表【4月】

水道の修理は「芦屋市指定水道工事事業者」へ

平日の昼間は水道部へお尋ねください。

土曜日・日曜日・祝日は市役所(緯31-2121)へお尋ねください。

夜間の修理は右の業者が待機しています。

店名	TEL	当番日
南大阪商会	32-6302	1、7、20、26
西岡設備工業所	22-6900	2、8、14、27
前忠工業株式会社	31-8548	3、9、15、21
(株)神明商会	22-3565	4、10、16、22、28
中央水道工務所	22-3552	5、11、17、23、29
原田商会	22-0706	6、12、18、24、30
越智商会	22-3708	13、19、25

問い合わせ 水道部工務課 緯38-2083

「水質検査計画」を作成しました

水質検査の適正化や透明性を確保するため、水源の特性など本市の地域性を踏まえ、検査の地点・項目・頻度とその理由などを明記した「平成18年度水質検査計画」を策定しました。市ホームページで公表するほか、水道部で配布します。

問い合わせ 水道部工務課 緯38-2084

「芦屋の水」等の有料広告を募集

広告の種類/位置 芦屋の水(ボトルウォーター 500ml・20,000本)/ボトル側面・縦2.5cm×横2.0cm・1区画、水量ご使用料のお知らせ(1期分10,000枚)/票内・縦9.6cm×横14.8cm・2区画、水道料金等納入通知書(1期分10,000枚)/通知書内・縦9.6cm×横14.8cm・2区画 使用できる色 白・紺・水色・グレーの4色、青1色、赤・青の2色 広告料金 400,000円、1区画・25,000円(1年間6期分・2区画使用可) 広告内容 水道部の広告媒体としての品位、公共性および公益性を妨げないもので、市民に不利益を与えないもの(選考委員会で決定) 申し込み 4月20日(木)<消印有効>までに、広告案(完全版下・プリントおよびデータ)を添え、下記へ。



問い合わせ 水道部総務課 ☎38-2080(〒659-8501 住所不要)